

画面越しに HELLO!

県立明石高校（明石市荷山町）の生徒10人が14日、オーストラリア西岸のパース郊外にある姉妹校モーリー高校の生徒とオンライン会議システム「Zoom」で交流した。学んできた相手国の言語で直接やりとりした。

両校は1993年に姉妹校となり、お互いの生徒が隔年で2週間の短期留学をしてきた。明石高校からはこれまでに289人が留学。今年もモーリー高校に短期留学する予定だったが、新型コロナウイルスの流行で中止になっていた。

モーリー高校には日本語の授業があるといい、英語と日本語を使って自己紹介したり、「日本で行ってみたいところがありますか」などと質問したりした。

英語クラブE S Sの部長を務める2年の加藤優一さん(17)は、モーリ



ズームを使って画面の向こうのモーリー高校の生徒と話す明石高校の生徒＝14日、明石市荷山町

明石高生、豪姉妹校と交流

ー高校の生徒から「What is Japanese slang? (日本で使われている俗語は何ですか)」と尋ねられた。「Japanese slang is やばい」と答え、意味として「great (素晴らしい) surprise (驚き) bad (悪い)」と伝えた。

加藤さんは「外国の人と英語でコミュニケーションをとる機会は少ないので、楽しかった。これからも英語の勉強を頑張ろうという気持ちになりました」と話した。

(滝坪潤一)